村報
筑北

第51号

平成26年3月20日発行

編集　筑北村総務課
〒399-7601
長野県東筑摩郡筑北村坂北 2187 番地
電話　0263-66-2211
FAX　0263-66-3656
ホームページ
http://www.vill.chikuhoku.lg.jp

筑北村の人口

総人口	5,085 人
男	2,481 人
女	2,604 人
戸　数	1,901 戸

（平成26年2月28日現在）

筑北村の民生児童委員が厚生労働大臣より委任されました。

（全国一斉改選　25年12月1日付）

地区	氏名	担当地域
本城地区	丸山民雄	河鹿沢、大沢
	西村廣	立川、岩戸一部
	中村けさ江	岩戸一部、竹之下
	坂間文江	田屋、八木
	山田竹子	乱橋大門、東村、上町
	窪田伸一	乱橋中町、本町、西村
	宮崎正和	小仁熊、伊切、上手山
	山田清子	小仁熊一部、丸山町
	藤澤登美子	西条上一・二・三
	久保田テル	西条中町、聖南町一・二
	久保田博子	（主任児童委員）全　域
坂北地区	宮入良光	刈谷沢
	山崎宮男	東山、矢花山寺、南1・2、糀屋、中通、長田本町
	深澤治雄	北組、長田上町、宇洞坂、六工、中島、みどり町
	市川はるゑ	青柳
	一ノ瀬憲昭	昭和町
	中澤清彦	竹場
	宮澤敬喜	上手方、日向、原
	久保田浩造	菖蒲田、細田、赤松、中込
	関川友義	別所
	一之瀬和樹	向原
坂井地区	山田千代子	杉崎、杉ノ越、玉根
	宮下栄子	下安坂
	柳澤つや子	上永井（松場、永井中村、大野田）
	西沢君夫	山秋、山崎
	若林登茂子	山間、桂石氷室、熊ノ川
	宮下博	中安坂
	若林長一郎	真田、中尾、高萩
	市川由子	（主任児童委員）全　域

4月からの新生活に向けて生活リズムを見直そう！

人間の体には、太古の昔から、日の出とともに働き、日が沈めば眠るという「体内リズム」があります。この「体内リズム」が乱れると、ストレスがたまったり、免疫力が落ちたりしてきます。４月は新生活スタートの時。生活リズムを整えて、快適な生活を始めましょう。

眠りは脳と心の栄養

眠っている間に子どもの成長に大切なホルモンがたくさん出ています

成長ホルモン	筋肉や骨を育てる 脳細胞を増やす
副腎皮質刺激ホルモン	集中力・意欲・学習力を強くする
セロトニン	心を穏やかにする
メラトニン	情緒を安定させる 体の早熟をおさえる
コルチゾール	体温をあげて起きる準備をする 昼間にエネルギーを発揮する

◇生活リズムをリセットする方法◇

1. 規則正しく早寝早起き！

早起きが苦手な人は、朝一番に朝陽をたっぷり浴びると「体内リズム」がリセットされます。

2. 昼間は、散歩・ウォーキング！

昼間の適度な運動は、夜の寝つきを良くします。

3. ストレスをいやすリラクゼーション！

自分に合ったリラックス法を見つけて楽しみましょう。

4. 食事は朝・昼・夕3回きちんと！

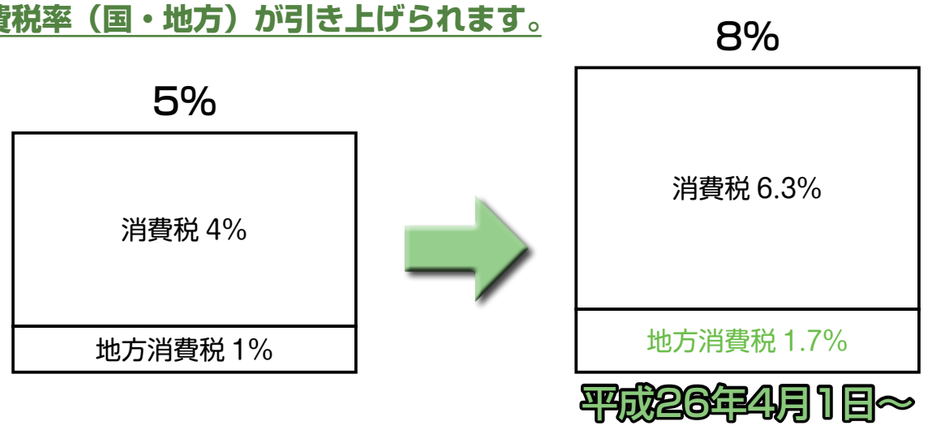
特に朝食は大切です。朝食を食べない人は、夕食時間が不規則になるほか、夕食後の間食も多く見られ、１日全体の食生活リズムに乱れが見られます。朝食を食べて、いきいきスタートしましょう。

ホットスポットちくほく

【松本税務署からのお知らせ】

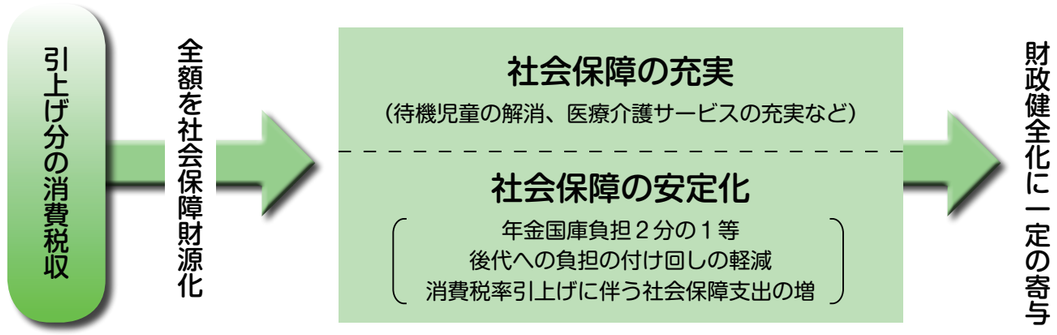
消費税率（国・地方）の引上げについて

1　消費税率（国・地方）が引き上げられます。



※地方消費税とは、国税である消費税と同様に、事業として行った商品の販売、サービスの提供等の国内取引や外国貨物の引き取りに対して課税される都道府県税です。
※消費税率 10%（消費税 7.8%・地方消費税 2.2%）への引上げについては、改めて経済状況等を総合的に勘案した検討を行います。

2　引上げ分の消費税収（国・地方）はすべて社会保障財源化されます。



3　円滑かつ適正な転嫁にご理解とご協力をお願いします。

○消費税率（国・地方）の引上げに当たって事業者の方々が円滑かつ適正に転嫁できるよう、転嫁、広告・宣伝、価格表示、便乗値上げ等に関する相談窓口を設置しています。
ご相談がある方は下記の相談センターにお問い合わせください。

消費税価格転嫁等総合相談センター　専用ダイヤル：0570－200－123

【受付時間】平日9:00～17:00（平成26年3月・4月は土曜日も受付）
※ お住まいの地域に応じて、以下の通話料金がかかります。
● 固定電話：8.5円～80円/3分間、携帯電話：90円/3分間、公衆電話：30円～220円/3分間

HP上の専用フォーム：http://www.tenkasoudan.go.jp（24時間受付）

国民年金後納制度で将来の年金額を増やせます

後納制度は、過去10年間に納め忘れた保険料を納付することにより、将来の年金額を増やすことができるものです。

また、年金を受給できなかった方は後納制度を利用することで年金が受けられる場合があります。

過去10年以内に納め忘れの保険料がある方は、ぜひ後納制度をご利用ください。

なお、後納制度が利用できる期限は平成27年9月30日までとなっています。お早めに申込みください。

後納保険料の納付書の「使用期限」にご注意ください

すでに後納制度を申し込まれた方で、平成16年4月以降分の後納保険料の納付がお済みでない方は、納付書に記載された使用期限（平成26年3月31日）までに納付をお願いします。

なお、使用期限までに納付できなかった方が、平成26年4月以降に納付を希望される場合は、新たな加算額による納付書を発行しますので「国民年金保険料専用ダイヤル」またはお近くの年金事務所にご連絡ください。

【ご注意】

○平成16年3月以前の後納保険料は、10年を超えるため平成26年4月以降は納付できません。

後納制度の申込み・納付書の再発行のお問合せは

国民年金保険料専用ダイヤル（ナビダイヤル）

0570-011-050

050から始まる電話でおかけになる場合は

03-6731-2015

<受付時間>	月曜日	午前8:30～午後7:00
	火～金曜日	午前8:30～午後5:15
	第２土曜日	午前9:30～午後4:00

※お問合せの際は基礎年金番号がわかるものをご用意ください、

※月曜日が祝日の場合は、翌日以降の開所日初日に午後7:00まで相談をお受けします。

※祝日（第2土曜日を除く）、12月29日～1月3日はご利用いただけません。

※ナビダイヤルは、一般の固定電話からおかけになる場合は全国どこからでも、市内通話料金でご利用いただけます。

ただし、一般の固定電話以外（携帯電話等）からおかけになる場合は、通常の通話料金がかかります。

※「03-6731-2015」の電話番号におかけになる場合は、通常の通話料金がかかります。

※「0570」の最初の「0」を省略したり、市外局番をつけて間違い電話になっているケースが発生していますので、おかけ間違いにはご注意ください。

地域おこし協力隊活動報告

【繭が「繭玉づくり」】

筑北村で初めての冬を過ごしています。風邪もひかずに過ごせているのは、三九郎が燃える火に、身体をあてて温まったからでしょうか。

さて、少し前の話になりますが、刈谷沢の「伝承の会」の「繭玉づくり」に参加してきました。この会は、伝統行事を家でやらなくなってきた今、顔の知れた仲間が集まり、行っていこうじゃないかと始まったものだそうです。

以前、この地域ではお蚕を飼っている家が多かったそうです。私の名前は「繭」。とてもご縁を感じます。本来、繭玉団子は養蚕の繁盛を祈り、三九郎の時に焼いて食べるもので、無病息災や子孫繁栄を願う伝統行事の一つです。

さて、「繭玉づくり」。繭玉団子を作る他、野菜、果物などの農作物や巾着、動物など、様々なものがモチーフにされています。「稲が実るほど垂れる→豊作を願う」ということで、稲の穂に見立てた柳にどんどんつけていきました。

みなさんのところでは「繭玉づくり」は行っていますか？行事に参加するたび、地域によってさまざまな特性があるようで、面白いです。その土地の地域性を肌で感じることができ、地域の方との交流も深まります。刈谷沢の方々は本当に仲良しで笑い声が絶えず賑やかです。とても楽しい時間を過ごすことができました。繭玉づくりの後は、一杯（いっぱい？）やりましたが、これもまた、住民同士の結びつきが強くなるのではないでしょうか。

村づくり推進室　須永繭

【移住体験ツアー計画中】

田舎への移住を考えている方向けの体験ツアーが各地で開催されているのをご存知でしょうか？このようなツアーには、観光だけでなく、農業体験や田舎の生活体験、現地の住宅や宅地の見学、現地住民との懇親会など様々な企画が含まれています。

筑北村でも、移住を考えている方から空き家バンクに関する問い合わせが増えていることから、空き家を見学しながら筑北村を見て体験してもらうツアーを開催したいと考えています。

そこで、ツアー企画の参考のために、2月7日、8日に原村で開催された移住体験ツアーに参加してきました。ツアー1日目は役場職員による村での生活に関する説明と、住民の方との座談会、2日目は宅地と中古住宅の見学という内容でした。

参加者は10名で、東京からの方がほとんどでしたが、京都からの方も！皆、原村で最も厳しい季節を体験しようと敢えて冬の部に参加したそうです。

ところが、2日目は朝から吹雪。あずさが運休になり、高速も一部通行止めになるほどの悪天候となってしまいました。原村の方は、村の印象が最悪になってしまったとがっかりしていましたが、参加者の方には、自然の厳しさを目の当たりにし、田舎暮らしについてより現実的に考える良い機会になったかもしれません。

今はインターネットで沢山の情報が手に入りますが、生活に関する情報は、実際に現地に足を運んで体験しないと分からないことばかりだと今回のツアーで実感しました。

筑北村でも移住体験ツアーを開催して、より多くの人に筑北村を体感して欲しいと思います。その際は、村の方にもぜひ色々なアイデアやご協力をいただきたいです。よろしくお願いします！

村づくり推進室　滝沢麻理

【ともに楽しむ多世代交流】

村内の活動グループ「からたち倶楽部」が、凧を作って坂北保育園の子どもたちと凧あげをするというお話を聞き、参加させていただきました。

作業中の公民館では、からたち倶楽部のメンバーが、テープを貼る人とビニールを抑える人

とに分かれて作業をしています。「もっとこっちだ」「そこでねぇ」と、教えてもらいながら一緒に作業をしていると、段々とお互いに慣れてきて、「お！そこだ」「うまいでねーか」と、ほめ言葉が増えてきてスピードもアップ。おじさま同士の会話、掛け合いも面白く、楽しく作ることができました。

後日、坂北保育園に凧がプレゼントされ、からたち倶楽部の方々が見守る中、子どもたちが凧に絵を描きます。「これは何？」「アイ活（アニメ）だよ」「ぼくのは宇宙！」と、楽しげな会話が飛び交います。完成したら、いよいよ外で凧あげです。待ちきれずに走り回る子どもたち。上着を着て帽子もかぶって、温かくしてみんなで外に出ます。

外では子どもたちがひもをしっかり持って思いっきり走ります。「あがらないよー」「ひもをもっと短くしてみろ」と試行錯誤が始まります。色々試して、「あがった！」と一緒に喜ぶ姿が、大人も子どもも嬉しそうで印象的でした。

地域の人たちが色々な形で多世代の人たちと関われる場、とても大切ですね。これからも色々な交流の場に参加していければと思います。

村づくり推進室　高橋桃

【一言欄】

室温計測のために温度計を買いました。家の中が零度以下の日が大半で、あらゆるものが凍りついていますが、元気です！

（田中）

猫が二階の吹き抜けから降ってきました。相棒とサバイバルな日々を過ごしています。

（坂井）

2月はよく雪が降りましたね。筑北村は雪の少ないところですよ～と、今後もご案内してもいいのでしょうか。悩みます…。

（滝沢）

人生初の大雪、雪かき、そして初そば打ちも経験させてもらえた2月でした。筋肉痛との戦いは続きます。

（高橋）

雪掻きの傍ら、雪の上に大の字でダイブ、ごろごろ転がって遊びました。雪掻きの後のラーメン&ビールは、それはそれは最高でした。

（須永）

役場職員逮捕に係るお詫び

役場の男性職員が、塩尻市内のレンタカー会社の車からタイヤを盗み、3月3日窃盗容疑により諏訪警察署に逮捕され、容疑を認めています。

このことは、村民皆様をはじめ、関係各部署等への信頼を損ねることとなり深くお詫び申し上げます。

今後は、公務員としての自覚を促し、再発防止に取組むとともに、信頼の回復に万全を期して努めてまいります。

林業退職金共済制度からのお知らせ

林業の仕事をしていたことがありませんか？

林業退職金共済制度（林退共）に加入していて、退職金をまだ受け取っていない方を探しています。

心当たりの方は、最寄の支部又は本部にお問い合わせ下さい。

【お問い合わせ先】

勤労者退職金共済機構
林業退職金共済事業本部
電話03－6731－2887

お詫びと訂正

1月に発行しました「ホットスポットちくほく」（第49号）の6頁2段の行の末尾、憩いの日利用方法の提示物の表記に誤りがありました。ここにお詫び申し上げ、訂正いたします。

正しくは、次のとおりです。

「・高齢者の方
村営バス100円乗車証」

商品デザインの協力をしています。

費用とデザインのバランスをとるように心がけています。

1月～2月の制作例一部

◀ 味のさかいさん ブルーベリージャムラベル

◀ もえぎ会さん 焼き豆腐ラベル

◀ 中澤さん なたね油ラベル

◀ 店頭チラシ

◀ポスター

◀新メニューお知らせ

写真撮影や取材・デザイン・データ作成は
協力隊が行い、印刷経費はご負担頂いています。

地域おこし協力隊特産品担当（田中浩司・坂井清香）

平成26年度国家公務員 国税専門官募集

国税局や税務署において、税務のスペシャリストとして法律・経済・会計等の専門知識を駆使し、国税に関する調査や滞納処分などの事務を行う国税専門官（国税調査官・国税徴収官・国税査察官など）を募集しています。

■受験資格　1　昭和59年4月2日～平成5年4月1日生まれの者
2　平成5年4月2日以降生まれの者で次に掲げるもの
(1) 大学を卒業した者及び平成27年3月までに大学を卒業する見込みの者
(2) 人事院が(1)に掲げる者と同等の資格があると認める者

■試験の程度　大学卒業程度

■申込み方法等　○インターネットで次のアドレスへアクセスし、説明に従って入力
http://www.jinji-shiken.go.jp/juken.html
○受付期間
平成26年4月1日（火）午前9時～4月14日（月）[受信有効]

■試験日　第1次試験日　平成26年6月8日（日）
第2次試験日　平成26年7月15日（火）～7月23日（水）のいずれかの指定日

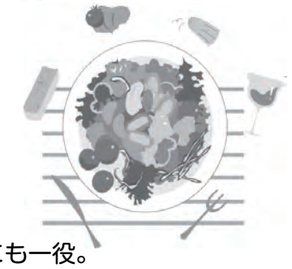
■試験日　第1次試験地　高崎市、さいたま市、新潟市、松本市ほか
第2次試験地　さいたま市ほか

■合格発表日　第1次試験合格者　平成26年7月1日（火）午前9時
最終合格者　平成26年8月20日（水）午前9時

■問い合わせ先　○インターネット申込みに関する問い合わせ
人事院人材局試験課　TEL：03-3581-5311　内線2332
午前9時30分から午後5時（土曜・日曜日及び祝日等の休日は除く。）

生きることは食べ続けること

“食べること”をテーマに
栄養士が送る…第2弾



前回までのおさらい・・・（正解は下を見てね）

野菜は　ア（　　）野菜と イ（　　）野菜にわかれました。

野菜から食べることで ウ（　　）が急激に上がるのを防ぎ、

エ（　　）が大切に使われれます。
（ヒント：膵臓から分泌されるホルモン）

また、血糖がオ（　　）に変わりにくいなど、肥満や糖尿病の予防にも一役。

お腹の調子も良くなって、便もすっきり出せればカ（　　）ガンの予防にもなるね。

そこで、今回は野菜についてもう少しチャレンジしましょう。　　野菜のパートⅡ

野菜の重さを当ててみよう!!

どんな野菜がどの位お皿にはいりますか？選ぶ目安にしてみましょう

小松菜やほうれん草 1束　（　　）g

もやし 1袋は（　　）g

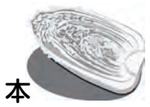
ミニトマト 1個（　　）g

1日に1人が摂りたい野菜の量は350g～400g

白菜 1枚（　　）g

おでん位の大根 1個（　　）g

たまねぎ 1個（　　）g



にんじん 1本（　　）g

レタス 1枚（　　）g

きゅうり 1本（　　）g

ブロッコリー 1かけ（　　）g

かさが多くてエネルギーが低い野菜を上手におなかに入れて、胃袋を満足させましょう

注意!!　腎臓や心臓の機能が弱い方で、カリウムの制限があり、野菜の食べ方を気を付けなければいけない方もいます。主治医の指示に従ってください。
詳しくお知りになりたい方は、住民福祉課　栄養士までご連絡ください。（TEL 66 － 2111）

〈空欄の答え〉

ア	緑黄色	エ	インスリン
イ	淡色	オ	脂肪
ウ	血糖値	カ	大腸

もやし	200g	ブロッコリー	20g	ほうれん草	200g
白菜	80g	人参	150g	ミニトマト	10g
きゅうり	100g	玉ねぎ	200g	大根	100g
（およその量です）				レタス	30g

筑北村議会だより

第50号

平成26年3月20日発行

編集　筑北村議会だより編集委員
〒399-7601
長野県東筑摩郡筑北村坂北2187番地
電話　0263-66-2211
FAX　0263-66-3656
ホームページ
http://www.vill.chikuhoku.lg.jp

本議会の映像は
筑北村ホームページから
ご覧になれます。

活動報告

国道403号新矢越トンネル早期完成
松くい虫被害対策要望を実施

建設産業常任委員　太田　守彦

2月3・4日二日間にわたり、全議員と村長も同行して、国土交通省、林野庁（農林水産省）、および地元選出国会議員へ要望活動を行いました。

国土交通省では、新矢越トンネルは平成28年度中（平成29年3月末まで）の完成をめざした事業計画となっております。

要望したのは、雪が降る前にトンネルを完成してもらうよう、一日でもいいから計画を前倒しして欲しいというものです。

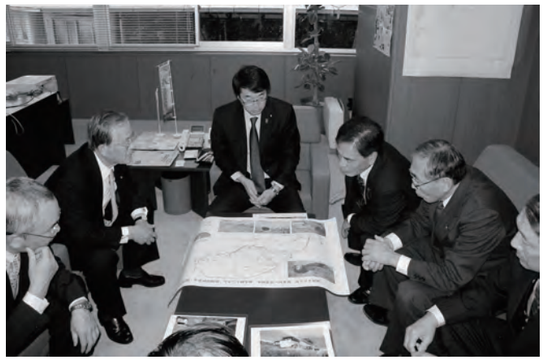
加えて、トンネルから国道19号（木戸橋交差点）にいたるルートについても道路整備と拡幅を要望して参りました。

林野庁では、松くい虫被害の状況を伝え、美しいアカマツの山に囲まれ、マツタケの産地である筑北村の里山を守りたいと訴えました。

また、薬剤による空中散布が円滑に実施できるよう国の支援を仰いだり、里山整備の遅れから有害獣被害が拡大していることも伝えたりして参りました。

これら我々の要望は、筑北村にとって悲願であり、喫緊課題であることを、おおむね理解していただけたと考えています。

多くの難題が横たわる中で、意義深い中央要望だったと思うのと同時に、村長と議会とがまさに一枚岩となって「筑北村を前進」させていくことが重要だと、改めて感じました。



国土交通省中原政務官への陳情

北部3ケ村議会議員懇談会開催

総務常任委員長　山田　寿

2月13日に西条温泉「とくら」において、生坂村・麻績村・筑北村の議会議員による懇談会が行われました。

今回は、各村とも改選後の開催のため、新人議員も多いことから、県町村議会議長会の宮嵜氏を講師に、「議会・議員の組織・役割と議会運営の基礎」と題して、議会の制度と運営について研修を行いました。

また、県議会議員の清沢英男先生から「県政の現状について」と題して、県の26年度予算関係、4年制大学の状況、都道府県議会議員の選挙区の見直しなど、身近な情報を交えて講演をいただきました。

懇談会の後には、其々の村が抱えている課題を確認しあうこともできました。議員が互いに自己研さんに励み実りある豊かなものにしたいと考えています。

北部３ケ村議会議員懇談会

議会12月定例会

一般質問

学校統合に向けての筑北村の一体性

総務常任委員長
山田　寿 議員

質問　村長は所信表明の中で、学校統合の前提として筑北村の一体化を言われているが、この点について伺う。

国・地方とも財政が逼迫（ひっぱく）している現状で、広域行政化は避けられないし、地方交付税でもメリットがある。児童生徒もより多集団の中で鍛えられ、逞（たくま）しくなる。坂井地域は特に、地理的歴史的に麻績村との交流が深く、一体化するのが自然で望ましいと考える。どのような状態になれば、一体化と言えるのか尋ねる。

村長　筑北村が一つと言っているが、保育園児、小学生全員を集めてもこのくらいの子供しかいないことを、保護者会、PTA、村民等に認識してもらいたい。社会教育の施設についても、これからの人口減少に即応した規模で一体感を持って進まねばならない。

麻績村との学校統合について

質問　麻績村は隣村であり、しかも、当村は麻績を中にして両側に位置する特異性を有する。昔から一体感の強い麻績村との連携を視野に入れた統合はどうか。

村長　この件については2年半麻績村と協議しており、こちらとしてはその答えを待っている。高野麻績村長は「麻績村に住んで良かった村づくり」を目指している。このことを受けて当村もスピード感をもって対応していかねばならない。

子供たちの学習環境　地域住民との連携

質問　児童生徒に対する学区内外における住民の参画が望ましい。必要性が国により提唱されている。成長期における地域住民との接触は多面において有意義であり必要でもある。村内の現状及びコミュニティースクールの構想はどうか。

教育長　住民連携の必要性は教育委員会でも認識し、多くの方々の参加をえながら進めている。コミュニティースクール構想は、県教育委員会からも設置を要請されており進めたい。学習図書館については、施設の状況を考え設置の方向で検討したい。

村主導の防護柵敷設（広範囲に設置する）について

質問　高齢化する中で村主導の防護柵を敷設（広範囲に設置する）できないか尋ねる。

産業課長　規模の大きな柵は、国庫補助事業で、住民自身の設置となる。農地プラン作成の上で、委託料として使える金額が若干助成できる制度がある。

保育料無料化と里の駅について

鎌田　欣子 議員

質問　保育料無料化について

26年4月からの実施で良いのか伺う。

村長　保育料の無料化は26年4月スタートに向けて、若者定住に力を入れていきたい。

問・保育時間の延長と休日（土曜日）の保育について　現状は？これからどのようにしていくのか？　統合保育園の場合、延長・休日保育は本城地域、坂北地域別々に実施するには、保育士の補充は必要だと思うが、如何か。

子ども支援課長

基本時間
8:30～16:30

〈現状〉
8:00～18:00
朝30分、夕1時間半延長
〈改善〉
7:30～18:30
朝1時間、夕方2時間延長
希望者があれば
7:00～19:00対応

※土曜保育は現状どおり

保育士は正規、臨時職員を含めて21名。そのうち2名が産休等で休んでおり19名で対応。現在延長保育の要望、未満児の保育を望まれる保護者の方が増えている。スクールバスの添乗などもあり、不足の状態にある。サービスの向上を考え教育委員会等でさらに検討していきたい。

質問　保育料の無料化をホームページへアップして、筑北村の宣伝に使っていただきたい。

質問「里の駅」構想について

「里の駅」構想のスタンスが不明である。そこで次の2点について伺う。①なぜ、3地域必要なのか。大規模に魅力あるものを一箇所に作っては、如何か。②なぜJAが入るのか伺う。

村づくり推進室長　①地域の特色を生かした体制整備は、それぞれの地域住民に根差した活性化拠点づくりとなり、今、困難になりつつある地域住民の主体的、そして自主的な活動を引き出し、持続可能な体制整備の構築が図られ、最終的には村づくりに結びついていく。3地域ごとにそれぞれ配備をしたい。②JAは全世帯の約8割が加入をしており旧村の中心的拠点として地域を支え、生活全般の相談窓口の機能も有するJA支所の統廃合問題（坂井・坂北支所の閉鎖）が浮上。JA支所の廃止は生活に大きく影響を与える。今回の「里の駅」プロジェクトは国の過疎地域等自立活性化推進事業でのソフト事業として、行政支所の窓口機能・JAのATMと組合員化機能・地域住民の交流機能・暮らしや産業支援を想定した中で、官民融合型集落活性化の拠点として構築したい。

保育園の統合について

横山　敬 議員

質問　残り4ヵ月でいまだ保護者に中身のある説明がされていないが、26年4月からスタート出来るか尋ねる。

学校等統合準備室長　現在、統合の準備に進めた組織を立ち上げて、具体的な中身を進めている状況である。11月21日に本城、坂北地域の保育園や未就園の保護者と懇談会を行っている。その中で現在進めている状況を詳しく伝えた。その懇談会の中では、26年4月にスタートすると了解いただいている。

質問　保護者の中には、周辺道路、スクールバス等、環境整備が解決してからでも遅くはないと言う意見が大多数を占めているが考えを尋ねる。

学校等統合準備室長　周辺道路については、村単独で行うのは財政的に非常に厳しい状況である。補助金などを活用して計画的に整備していく。スクールバスについては26年4月から運行出来るように整備している。

質問　なるべく保護者の皆さんの不安がないよう迅速丁寧に情報をお伝えいただきたい。最終的に周辺整備がすべて終わる時期はいつか尋ねる。

学校等統合準備室長　周辺の道路環境整備等については、非常に多額の費用が掛かる。期間については、明言できない。

質問　なるべく早く環境整備をしていただいて、その間も園児等の皆さんが通うので、安全整備等十分に注意していただきたい。

最後に村長自身が必ず26年4月から統合保育園をスタートする意思があるか、また合併特例債を使い新しい保育園をつくる気持ちがあるか尋ねる。

村長　26年4月スタートを崩すつもりはない。

また、合併特例債を使って新しい保育園を造る気持ちはない。

質問　26年4月からスタートする保育園が良いものになるように、保護者の皆さんの不安が取り除かれるように最善の努力をしていただきたい。

筑北ひまわり保育園

筑北村防災計画について

佐藤　文男 議員

質問　村の地域防災計画の見直し状況を尋ねる。

総務課長　国や県も見直し修正が行われており、大沢地区の豪雨災害などの課題も踏まえて改正を進めている。遅れているが26年度には見直し改定する。

質問　防災計画について知らない方が多いので、公表して関係者の教育や訓練など必要と思うが、今後の考えを尋ねる。

総務課長　見直しが終了したら広報する。方法については現在検討中である。関係者の教育や訓練については、自主防災組織など様々な機会の中で研修や訓練が、できるよう働きかけをしていく。

質問　防災ハザードマップについて近隣市町村は実施中だが、作成し全戸配布する予定があるか尋ねる。

総務課長　全戸配布の予定で原案ができている。現在警戒区域などの指定の調査が行われており、結果の説明会が終わり次第見直しをして公表していく。

質問　当村の災害時の避難施設や場所が、災害想定範囲の中に入っている場所がある。見直す予定があるか尋ねる。

総務課長　現在27カ所中12カ所が災害想定範囲の中に入っている。当村のように、山に囲まれた所は、すべて外すのは難しいと考えており、災害の種類や状況ごとに、使用場所を変えていくことも検討する。

質問　その場合はマニュアルを作って、災害に備えた訓練も必要と思うので検討していただきたい。

若者定住対策について

質問　20代から40代の人を対象に、村で定住に関するアンケートを実施したが、結果について尋ねる。

村づくり推進室長　村営住宅の整備について、諸条件のニーズを把握するとともに、若者定住促進策の方向性について調査した。集計された諸データのまとめとして、村の特徴や長所を多くの人に情報発信し、村に関心を持つ人を増やすことが必要であり、移住・定住促進策を積極的に取り組むことが重要という結果だ。

質問　若い人の意見を取り入れていく必要があるが、考えを尋ねる。

村づくり推進室長　将来の地域の中心的な役割を担う世代の意見を聞く機会をつくる必要があると思う。

質問　役場庁内の若者プロジェクトの状況と今後の予定を尋ねる。

村づくり推進室長　現在は、信州ちくほくウェブツーリズムという任意団体を作り、村の情報発信や地域振興について活動している。今後の運営については検討中。

質問　結婚推進事業について活動状況と今後の計画などを尋ねる。

住民福祉課長　結婚推進員6名で、イベントなどを含めて活動中。推進員は、民間の事業委託も含め、今後の計画など進めていく。

若者定住促進住宅

合併特例債について

待井　安登 議員

質問　合併特例債を活用しての事業計画と借入見込額について尋ねる。

村長　合併特例債発行期間が延長され、筑北村は32年度までである。事業費の発行可能額は47億1千万円となっている。現在までの発行額は、約6億2千万円であり、今後の事業としては、①本庁舎方式導入に伴う庁舎改修工事、②学校統合に伴う改修、③水路の改修、④防災拠点施設の整備、⑤定住促進のための住宅整備、⑥集団生活住宅、グループホーム等を含む問題、社会教育施設の整備などを考えている。

事業の適正を考慮し、過疎対策事業債と併せて活用していきたい。

質問　筑北村の公債費比率は現在11・4％であるが、今後の財政運営を考慮するなかで、公債費比率の基本的な考え方はいかがか。

村長　県下の平均は9・7％であるが、今後の発行額で推計すると8年から10年後頃に元利償還金が最も多くなると予測され、その時点での公債費比率は現在と同水準ぐらいと見ている。やるべき事業をしっかり行うとすれば、ある程度起債発行をしても現在と同水準ぐらいで維持していけると考えている。

質問　26年度予算では、過疎対策事業債と合わせてどの程度見込まれているか尋ねる。

村長　村債発行額を4億円以内としたい目標をもっており、2起債合わせて2億5千万円程度を見込んでいる。

松くい虫対策について

質問　被害が拡大するなかで、現在の状況について尋ねる。

産業課長　25年春先に約600本の確認をし、400本超の処理をしたが、現在は春先同様に推計で600本位ある。

また場所的には急傾斜地など手がつかない状況である。本城・坂北地域では、富蔵周辺高速道路わき、十二パーキング周辺、向原などであり全体の80％を占めている。

質問　防除のために空中散布をしているが、効果について尋ねる。

産業課長　被害を抑えるという意味では効果ありと捉えている。現在差切地籍16ＨＡを6月に実施している。薬剤効果が約2ヶ月であり感染時期を想定し有効に機能していると考えている。

質問　薫蒸処理をした被害木の利用について考えを尋ねる。

産業課長　伐倒薫蒸処理をしている中の薬剤は、最低1ヶ月で被害がなくなり利用が可能となる。県ではバイオマス発電に利用を検討し、近隣の安曇野市、池田町で、まきボイラーによる利活用計画が一部実施されている。村でも何らかの形で利用できないか検討していきたい。

質問　今後の防除対策について尋ねる。

村長　空中防除、地上散布は本年と同規模を予定し、倒木処理は25年春の5割増としたい。対策のなかで駆除後は桜など新しい樹木を植え完了としたい。

当村の有害鳥獣駆除対策を問う

中村　弘 議員

質問　有害鳥獣対策はどのように実施しているか尋ねる。

産業課長　村が、筑北村猟友会3支部と委託契約し、捕獲従事者に年間2万円、また国の鳥獣被害防止緊急捕獲対策交付金を活用し、ニホンジカやイノシシの捕獲に1頭1万3千円を支払っている。また、捕獲を進めるため捕獲用具の貸し出し、新規に狩猟者免許を取得する際の申請手数料全額助成をして鳥獣捕獲対策を進めている。

質問　現在の猟友会の会員数は何人か尋ねる。

産業課長　第1種猟銃が29名、わなが38名、網が1名で会員数合計58名である。

質問　冬の時期に群れで里山に住みつくことは数回しかなく、その時は最高の駆除チャンスである。支部長から依頼があった場合の緊急駆除対応として、猟友会員の役場職員を動員する考えはないか尋ねる。

村長　銃で駆除できる猟友会員29名の内、役場職員は私もいれて7名いる。長野県の場合を見ると、有害鳥獣駆除の対策室を設置して実施している村もある。今後、銃を持った会員と相談し対策を進めていきたい。

鳥獣被害状況

村長公約について

宮島　義次 議員

質問　村長公約の中から次の点について尋ねる。1点目は合併特例債を使っての村の重複施設を変更するとしているが、構想を尋ねる。

村長　26年度中に検討委員会を作り、学校統合による空き校舎、社会教育施設など村の施設がいくつあるか精査して、どのような形で残したらよいか、またこれからの里の駅も含め計画をつくっていきたいと考えている。

質問　このほか合併特例債を使ってどのような事業を考えているか尋ねる。

村長　本庁方式の導入に伴う庁舎の改築、学校統合に伴う改修、水路改修、防災拠点の施設整備、定住促進の住宅整備、集団生活住宅（グループホーム）である。

この中で集団生活住宅は高齢者の一人暮らし、二人暮らしの皆さんを災害から守っていく施設で、村の一番大きな事業と考えている。

質問　2点目は若者定住対策の中で保育料の無料化を実施するとなっているが実施時期について尋ねる。

村長　保育料の無料化は、未満児の保育料と給食費を除いた年少から年長までの無料保育である。実施時期については、26年度4月から実施できるように教育委員会に指示している。費用も私の思っていた以下に抑えられると思うので、4月から実施できると考える。無料化による財政面については、教育委員会でデータが出ているので子ども支援課長から説明する。

子ども支援課長　年少以上の保育料無料化により年間で1，880万円位の歳入が減ると見込まれる。

質問　3点目はJR篠ノ井線の複線化に向け、どのような取り組みを考えているか尋ねる。

村長　複線化に力を入れていきたい。そのような中で安曇野市長より長野市から塩尻市までの沿線市村で連絡調整会議のようなものの立上げの話があった。今後このような形でJRも参加する中で検討されていくと思っている。ここに筑北村も参加し、ともに協力し合っていきたい。

予算編成方針について

太田　守彦 議員

質問　村の喫緊課題及び先般の所信表明に対して質問する。有害獣から生命の安全を守るにはさらなる個体数削減が必要である。25年度予算をみると防護柵資材購入が九割を占めており、個体数削減にもっと踏み込んだ予算編成が必要と考えるがどうか。

産業課長　猟友会三支部に委託し頭数の確保をお願いしている。新たな対策については検討する。

質問　松くい虫対策の一つ、空中防除についてはコスト的に安い等の利点があり、もっと実施範囲を広げるべきであるがどうか。

産業課長　空中防除の実施は苦情や反対活動もあり範囲を拡大するには県等と調整が必要である。

質問　松くい虫被害は深刻であり森林税を活用し、北部3村で共同実施が可能か実現性を尋ねる。

産業課長　現在実施している空中防除の中で実施場所を調整することは可能。なお森林税を使っての空中防除は補助対象となっていない。

質問　村PR用看板を設置する件について、「道の駅さかきた」へ設置する考えはないか尋ねる。

村長　当施設の経緯として旧坂北村が松本建設事務所と結んだ協定書があり、看板を設置する場合には協議が必要となる。立地場所やPR効果の面で検討の中に加える。

質問　前飯森村長は都市との交流事業をテーマに「種」を播いた。種を育てる人、収穫する人は関川村長に代わっても、その種を無駄にすることは村民益に繋がらない。交流事業の評価について尋ねる。

産業課長　都会の子供たちを受入れた家庭では、若干の報酬に加え生きがい対策にもなっている。

質問　交流人口の多さを目標にするのではなく、双方向の交流とか年齢層の幅を広げることも交流事業のあり方だと考えるがどうか。

産業課長　ご指摘の件は認識している。しかし、事業を安定するためには70軒程度の受入れ家庭が必要であり、夏休みなど実施時期の調整も必要となり、課題である。

質問　「里の駅構想」は推進協議会と並行して、外部委託のワークショップ形式も進んでいる。26年度はどのような組織で里の駅構想を実現させていくのか伺う。特に外部業者へ来年度の契約更新も迫っており、継続するのか尋ねる。

村づくり推進室長　今年度は国の補助事業の中で動いている。1月の予算要望時期までに、来年度の方向性を決定したい。

健全な財政構造による当初予算編成基本方針

山崎　広道 議員

質問　26年度当初予算編成方針は、現況の筑北村の財政状況を十分考慮した予算編成になるかと思う。そこで歳入・歳出の見通しと、主要事業を尋ねる。

総務課長　予算編成方針に基づいて、職員は1月中旬に予算要求システムに入力作業をする。歳入は、村財政等の自主財源の増収は非常に厳しい状況である。交付税も減額が懸念されている。歳出では、社会保障費や老朽化施設、備品などの維持補修費が年々増加傾向にある。更に庁舎の統合、学校統合等、大型の臨時的な建設費が増加する見込み。

次に特別会計の支出、歳出の繰出の関係においては、国保や介護保険などルール分としての繰出も、特に介護保険は給付費がかなり伸びている状況にある。

質問　村の主要事業においての最重要課題と継続事業を尋ねる。

総務課長　中長期的な視点で健全な財政構造の改善を前提として、引き続き最重要課題を人口減のストップ、人口増対策とし、これを基軸とした若者定住促進、子育て支援の充実、高齢者が安心して暮らせる村づくりを重点課題として施策を推進する。継続事業においては、例えば福祉関係で行っている事業等は基本的には、継続してやっていくという考えでいる。

質問　区から村への要望事項の当初予算への対処は、国・県の補助金の動向を見据えての予算計上で村単事業への振替え実施も考えられるが、予算枠の中で、最終段階で調整するか尋ねる。

総務課長　区・村民要望事項と新規事業については、予算要望が上がってきた段階で、優先順位をつけての判断という形になると思われる。大型事業等もあるので、全体的な財政のバランスを考慮しての決定となる。

質問　26年度の主要事業計画で、村長が公約した6項目の中において、当初予算へ計上して実施する事業は何か尋ねる。

村長　主要事業の中では、保育料無料化が一番である。次の水資源の問題は、なるべく一般財源を使わずに、国・県の補助金を使っての環境整備を考える。

質問　24年度の各合計の決算及び資金の運用を含めて、審査意見書の記載事項について、どの様に当初予算へ反映した予算計上がされるか考えを尋ねる。

総務課長　予算編成の具体的取組みの全体的事項というところで、歳入・歳出ともに監査委員の意見、指摘事項については真摯に受け止め、予算に適切に反映するように掲げている。職員一人ひとりが、事業の費用対効果を意識し、創意工夫と柔軟な発想で当初予算計上に取り組む。

麻績村との合併について

小山　正博 議員

質問　まずは筑北村の村づくりを優先して、麻績村とは、交流連帯を深めてとの公約だが、次の3点について考えを伺う。①交流・連帯を深める具体的な施策は何かを尋ねる。

村長　両村長とも、一致していることは、まだ合併の時期ではない。これから合併に向けてやらなければならないことは、昨年から実施の成人式の合同開催、高速通信網の情報の公開、下水道の終末処理の運用等を検討したい。

質問　②全村民の7割近くが、坂井地域においては9割近くが、合併に賛成との新聞の調査があり、どう評価するか尋ねる。

村長　調査は調査で受け止めなければいけない。しかしこの問題は、筑北村のあり方に係ってくる。坂井地域は、麻績村を通って行かなければいけない特別な地域だ。学校の問題、坂井住民と教育委員会、行政を含めて、話合いが、非常に少ない。今後教育委員会に指示して、月に数回は話合いをして、筑北のよいところを坂井住民に知っていただきたい。

質問　③合併後8年、村が一つになっておらず停滞しているとしているが、原因は何と考えるか。

村長　当村は、旧3ヵ村時代の施設が多数あり、その施設の統廃合が、計画されなかったのが一つの原因と考える。

有害獣防護柵設置について

質問　有害獣が住宅近くまで出没しており、個体数を減らす努力にも限界があり、防護柵の設置が有効と考える。設置予定、検討中の地域を尋ねる。

産業課長　現在坂井地域の下安坂地区が、予定されているだけで、他地域に動きはない。

質問　予定が一カ所のみというのは、問題だと考える。原因と対策を尋ねる。

産業課長　柵の材料は全部支給されるが、施工は地元の皆さんで実施のため、そこが一番ネックになっている。国庫補助での施工は、地元実施が条件のため。25年度に「人・農地プラン」を策定して頂き、村からの補助金を賃金等に充てて頂きたい。

質問　村内では東山、別所、大野田地区が設置済みである。そのノウハウを村が間に入って、予定地区に繋げるか尋ねる。

産業課長　実施地区の現状を知って頂くよう対応する。

また、先進優良事例として朝日村への視察も、関係者に提案したい。

防護柵

第23回参議院議員通常選挙県表彰を受賞しました。

2月12日東御市において「明るい選挙推進フォーラム」が開催され、そこで平成25年7月に執行された、第23回参議院議員通常選挙の長野県選挙管理委員会委員長表彰の伝達式が行われました。

日頃から村民の皆さんにご協力いただき、選挙に対する意識の高さや投票に臨む姿勢など、当村の功績が認められ筑北村選挙管理委員会として、受賞することができました。心から御礼申し上げます。

また、26年度8月には県知事選挙も予定されていますので、今後も選挙に対しまして、ご協力をお願いいたします。

当村の他に3委員会、個人の方で2名の方が県委員長表彰を受賞され、2名の方が総務大臣表彰を受賞されました。

参議院選挙表彰伝達式

議会日誌

1月

林野庁研究指導課池田課長への陳情

12日	消防団出初式
15日	郡村長会新年会
16日	犀川砂防事務所要望
17日	長野県地方自治政策課題研修会
20日	第1回議会臨時会・商工会新年賀詞交歓会
28・29日	松本広域連合議会常任委員会
31日	町村議会正副議長・正副常任委員長研修会

2月

北部3ヶ村議会議員懇談会

3・4日	中央要望活動
5日	穂高広域施設組合議会
6日	議会だより編集委員会
7日	安曇野松筑広域環境施設組合議会
12日	筑北クリーンセンター組合議会
13日	議会運営委員会・北部3ヶ村議会議員懇談会
14日	松本広域連合議会
17日	全員協議会
19日	松塩筑木曽老人福祉施設組合議会
21日	郡村議会議長会総会
25日	県町村議長会定期総会
28日	麻績村筑北村学校組合議会

筑北村
公民館報
第50号
平成26年3月20日発行

〒399-7711
長野県東筑摩郡筑北村坂井5711-1
電話　0263-67-1161
FAX　0263-67-2170
ホームページ
http://www.vill.chikuhoku.lg.jp

平成25年筑北シニア大学

高齢者を対象に年間を通しシニア大学を開校しました。

第1回　期待いっぱいの5月

開講式と講演会

みんなで創る「元気な村」をテーマに前筑北村長の飯森紀元さんに講演をいただきました。

第2回　健康第一の6月

「高齢者の心と身体の健康づくり」をテーマに村住民福祉課の吉池千賀子課長補佐に講演をいただきました。

第3回　旅で楽しく学ぶ7月

県内（北信・中信・南信地域）の歴史と文化等を学びました。

①北信濃の歴史と文学を楽しむ

・関川の関所・博物館
・一茶記念館等を視察

②縄文の息吹と大自然を満喫

・八ヶ岳総合博物館・尖石考古館
・八島ケ原湿原等を視察

③北アルプス山麓をゆく

・塩の道観音原石仏群・美術館
・白馬ジャンプ競技場等を視察

第4回　歌で心豊かに9月

元音楽専科教員の宮入清子さんと一緒に歌と喫茶で心を和ませる「歌声喫茶」行いました。

第5回　文化財溢れる乱橋10月

乱橋石畳の会と生涯学習支援ボランティアの皆さんから乱橋地区の史跡を学ぶ「乱橋史跡めぐり」を行いました。

第6回　笑いで健康に11月

信州松本ラフターヨガクラブの池田信子さんから笑うことの大切さ「ラフターヨガ」（笑いヨガ）を学びました。

第7回　心澄まして12月

「仏教と人生」をテーマに冠着山安養寺住職の山口勝人さんに講演をいただきました。

第8回　先輩から学ぶ2月

・講演会と閉講式

「私の生きた道」をテーマに元坂井村長の山田一榮さんに講演をいただきました。

心の伝言板㉙

ついに春　希望の出発だ！

豪雪・ソチ五輪。厳しい冬や五輪からたくさん学び、感動をいただき、さあ待ちに待った春。心新たに出発したいものです。

冬は史上最多の豪雪・災害

けが人続出の除雪、車庫ハウスの倒壊、立ち往生のトラック数百台・観光バスも、幾日も動けない列車、物が届かない店、小中学校の休校―甚大な豪雪被害。

でも、私たちは自然の力に改めて畏敬の念（恐れ敬い）を抱くと共に、豪雪に立ち向かい、対策に本腰を入れ、備えの強化に動くなど、豪雪によってたくさんの事を教えられました。

また生坂村や軽井沢町他では、避難所を設けたり、運転士さんや乗客に炊き出しをして食を提供する等、助け合いの心や絆は逆にこのにくき豪雪によって育まれたのではないでしょうか。

ソチ冬季五輪では
金メダルより感激の全力競技

攻めて最速で四位入賞の女子モーグル上村。四一歳最年長銀メダリスト、ジャンプのレジェンド葛西。メダルを逃しても、力を出し切って胸を張る浅田他フィギュアスケート選手たち。

金メダリストはすごいのですが、倒れこむほど持てる力をすべて出し切って競技した日本選手全員が与えてくれた感動は、誰もが心ゆさぶられ、強烈なパワーをいただいたことでしょう。

そして3月卒業は希望

保育園卒―いつも強い子の下で自分を出せなかった子も、わがままな子も心配ないよ。上級生がやさしく教えてあげようと心待ちにしている。新しいランドセルを背負って元気に入学だ。

小学校卒―きりりとした中学校の制服、新しい友との出会い。教科ごとに変わる先生。やさしい先輩から教わる部活動。わくわくの中学校生活は楽しいぞ。

中学校卒―電車での通学、そびえ立つ大きな高校の校舎・気が合いそうな友、尊敬できる先輩に先生。自由がたくさんの高校生活がすぐそこに待ってます。

高校・大学卒―いよいよ社会に出る。今までじっと夢見てきた将来の仕事へひた進む時です。

春風に花開き、緑萌え始めたこの良き時。みんな心燃やして。

筑北村図書館だより

第150回直木賞・芥川賞受賞作品の紹介

直木賞・芥川賞とは

直木三十五と芥川龍之介の名を記念して昭和10年に制定された、各新聞・雑誌（同人雑誌を含む）に発表された純文学短編作品中最も優秀なるものに呈する賞です。主に直木賞が無名・新進・中堅作家。芥川賞は無名もしくは新進作家が対象となります。

直木賞受賞作品

【恋歌】『朝井まかて』

1959年大阪府羽曳野市生まれ。
甲南女子大学文学部国文学科卒業。

【昭和の犬】『姫野カオルコ』

1958年滋賀県甲賀市生まれ。
青山学院大学文学部日本文学科卒業。
画廊勤務を経て文筆業。

芥川賞受賞作品

【穴】　『小山田浩子』

1983年広島県広島市生まれ。
2006年広島大学文学部卒業。
2010年「工場」で第42回新潮新人賞受賞。

お知らせ

蔵書点検の実施について

5月に筑北村図書館・図書室で蔵書点検を行います。
詳しくは後日、改めてお知らせいたします。

春休み1日開館を実施します

筑北村図書館で、3月19日（水）～3月30日（日）、午前9時～午後6時まで1日開館を行います

公民館登録団体の紹介

学習・趣味を通し、人と人の輪を広げよう

公民館に多くのクラブ、サークルが登録し、活発な生涯学習活動を自主的に行っています。一部ですがクラブ、サークルの活動内容を紹介しますので、新しいことに挑戦してみませんか。各団体の活動内容など、詳しくは公民館までお問い合わせください。（☎ 67 － 2064）

美術・工芸

本城・坂北水彩画クラブ
楽しく絵を描き、美術館巡り（研修）も年二回位、老若男女どなたでも参加できます。

坂井水彩画クラブ
自分の好きな物で水彩画を描きます。

坂井写仏教室
経を唱え、心を清め、仏様を写し、絹布・和紙・色紙等々に絵を完成させてゆく。折りあらば、寺院・史跡など研修の旅をしています。

坂北写仏クラブ
初めに般若心経を唱える。心を静める。写仏をして色づけ、仕上げ。

坂井絵手紙教室
みんなで楽しく趣味あふれる絵手紙作りをしましょう。

本城水墨画クラブ
趣味の水墨画等の教本から個々の描きたい作品を選んで、個性ある水墨画を描いて楽しい教室にしています。

木彫り教室
月１回、木彫りを楽しみます。

編み物教室
クラブ員の親睦を計りながら和気あいあいと帽子・ベスト・セーター等の編み物をしていますので、皆さんどうぞおさそい合わせておでかけ下さい。

フラワーボトルサークル
フラワーボトル作品作りビンの中へ生花を入れてドライフラワーにする作品です。もろこし人形作り基本を元にそれぞれが楽しく作っています。

押花クラブ　花紬の会
押花作品作り　はがき・しおり・花絵額等 押花は各自、自宅で作ります。それを持ち寄って、意見交換（おしゃべり）やお茶をしたりしながら、ゆっくり楽しく活動しています。

ビーズ・サークル
安曇野市 zuku 細田高志先生を講師に迎え、立体的な物（干支等）アクセサリー、ネックレス・ブレスレット、針を使ってビーズによるキャラクター作り等を行っています。

創作もろこし人形の会
もろこしの皮やひげで人形等の作品を作っています。今年は６月に千曲のギャラリーで今までの作品を展示致します。

刈谷沢きめこみ夢クラブ
きめこみ、根気のいる手芸です。

プリザーブド・フラワーサークル
様々な花をプリザーブド化（特殊な液で作成）してアレンジします。今年は「まゆ」を使った花作りに挑戦します。

生活・健康

刈谷沢婦人部手芸クラブ
料理講習、手芸（JA の指導員さんより）

笑の輪会
楽しく笑って体を動かし、健康つくりや仲間つくりをして居ります。事前の申込は必要ありません。どなたでも気軽にご参加ください。

エアロビクスクラブ
音楽にのっていろいろなステップを踏む有酸素運動です。ウォーミングアップ・ストレッチも行い、心も体もリフレッシュできます。

シャガ（茶道）
抹茶とお菓子で慌ただしい日常生活から少し離れてリフレッシュしています。興味のある方お仲間に入りしませんか。

音楽・芸能

本城コーラス
２部・３部合唱の女性コーラスです。コーラスを通じて美しいハーモニーをめざして頑張っています。ストレス発散におでかけ下さい。

本城歌謡クラブ
日本の歌、演歌をカラオケで練習したい方どうぞ入会して下さい。

坂北コーラス
秋の長野県母親コーラス祭りへの参加を目標に楽しく合唱しています。

ニュー・ジエンターズ
総勢 25 名のプルバンド。各種イベントへ参加を中心に活動しています。

コカリナの会
コカリナ、歌の練習をしています。村内のデイサービスセンターへ慰問をし、交流を図っています。

日本吟道誠月会
漢詩の世界に遊び、吟詠として楽しむ。

民謡筑北会坂北教室
長野県内はもちろん、全国各地の民謡を尺八・三味線に合わせて、楽しくうたっています。

坂井童謡を楽しむ会
童謡は心のふる里です。言葉が美しく、歌い易く、覚え易く、だれにでも親しめる歌です。子どもの頃うたった曲の懐かしさを感じ、楽しく歌っています。

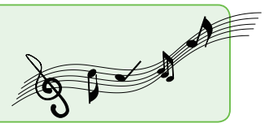
筑北尺八同好会
童謡、唱歌、演歌、民謡等簡単にできる曲を選曲し練習しています。文化祭や介護施設で演奏、交流を図っています。今は演奏の練習がメインだ。チャレンジの1歩が大切!

坂北童謡を楽しむ会
私たちは、幼いころ口ずさんだ歌をお腹の底から思い切って声を出し、仲間と支え合いながら楽しんでおります。歌の好きな方は大歓迎です。

刈谷沢雑奏の会
ハーモニカ主体にキーボード、鉄琴、マラカス、タンバリン、鈴等で合奏練習を楽しくやっております。デイサービスの慰問の際には踊りも練習します。

筑北村フォークダンス「ジュバリー」
世界のフォークダンス・レクレーションダンス等、ステキな音楽に合わせて体を動かし、人の和を広げています。村内外の愛好者との交流を計ります。

大正琴クラブ
みんなで楽しく輝いています。



ボランティア

おはなしポケット
本城小学校、聖南中学校、本城公民館等で絵本や紙芝居の読み聞かせをしています。

シニアわくわくクラブ
地域活動の参加協力（夏祭り・文化祭）子供達との紙工作（手作りと遊びのつどい）デイサービスでのボランティア良かったら一緒に参加してみませんか !!

もりの子お話の会
筑北村図書館を中心にお話会を開催。こども達には「楽しみながら本に親しんで欲しい」と願い、工夫を凝らして活動しています。坂北小学校の朝読書に参加しています。

文学・文芸

かむりき句会
講師には俳句紙「岳」の事務局長の堤保徳先生（長野市）に懇切丁寧に俳句を教えていただけます。初心者の方大歓迎です。

本城ひまわり俳句会
「季語」について学び、見たこと、感じたこと、祭りや行事など暮らしの中から五七五の短文にまとめます。興味をお持ちの方、入会をお待ちしております。

坂北俳句会
句会を行い、作品を市民タイムスに投稿しています。

こでまり短歌会（香蘭短歌会筑北支部）
数首ずつ短歌を持ち寄って批評添削しています。

行ってみましょ 見てみましょ④

坂北地域の「龍澤山碩水寺」

筑北地域の方は行ったことがある、知っていると言われることが多いとおもいます。もとは裏山に覚応阿闍梨法印の塔があったことから真言宗のお寺であったとされていますが、亨禄年中より曹洞宗に改られたとされています。入口には6体のお地蔵様が並び訪れる人を迎えてくれます。

雪に覆われた６地蔵

階段をのぼり大きな門をくぐると文政3年に再建された本堂が姿を現します。

お地蔵様を囲む紫陽花

県宝の阿弥陀如来像は鎌倉時代の作とされています。お寺の周辺は赤松が生え、庭の池の周りには紫陽花が植えられています。物静かな中にも四季折々様相を変えて訪れる人の目にうるおいを与えてくれます。またお寺の前から西を眺めると雄大な北アルプスを眺めることができます。

おじゃましました

本城地域・乱橋「きより会」(代表・中村弘さん・メンバーは9人で60代～70代）が冬の農閑期を利用して縄作りに挑戦しています。昔使っていた縄編みの機械を探し、使い方を模索しながらの縄の出来具合に一喜一憂していました。この縄は秋のわらたばを縛るのに使います。

縄編みの機械が壊れ、部品も無いのが悩みです。「もし自宅に眠っている縄編み機械がありましたら譲って欲しいです。」

わらを均一に差し込むのがむずかしい…

農地放棄の桑ばたけを耕地に戻し野沢菜・白菜・大豆・黒豆・そば・菊の栽培に取り組んでいます。（10年程前から仲間で作業している）

菊のさし芽…4月の末から5月初めに15㎡の畑に植え7月末から盆前に出荷している。

「仲間で温泉や食事会（飲み会）旅行に行くのが楽しみ」との事でした。

コラム

ソチオリンピックには多くの感動やドラマと共に終わりました。日本選手の個々の活躍は、オリンピックが終わってもこころに残るものがあります。また、オリンピック最中には大雪に見舞われて多くの人が、被害を受け記憶に残るでしょう。

いつもメダル獲得数が話題になりますが、92年アルベールビル大会の7個を上回る8個獲得に、橋本聖子団長は「チームジャパンが一丸となった結果」と話していましたが、ただ「最多のメダル数」と大騒ぎするのには違和感を覚えます。

スノーボードでは若手の活躍が目立ちましたが強化指定選手たちで決して層が厚いというわけではない。若手が育っていないスケート界は、もっと深刻ではないかと思い、4年後には厳しい現実が待ち迎えているのでは…

これまで以上に、各種のスポーツ界で、個々に頑張っている人たちに、もっと周りの熱い支援が必要に思えます。

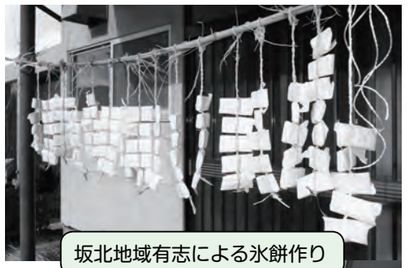
お祭り大好き男

ちくほっくる
手作りパンを販売

東条２区
そば打ち講習会

地域とともにいきいきと活動しています

おたがいさまネットワーク
地域を廻って販売しています～


坂北地域有志による氷餅作り

からたち倶楽部
青柳地区祭典竹灯篭作りと
保育園向け竹とんぼ作り

刈谷沢神明宮　お田植えまつり
地元をはじめ多くのカメラマンと参拝客が訪れる伝統のお祭り

フットサル　目指せ！日本代表！

～保育園、統合に向けて～

現坂北保育園の工事期間中、本城保育園で２園一緒に給食を食べています。小さいお友だちはお昼寝とおやつも一緒です。

みんなで食べると、おいしい！

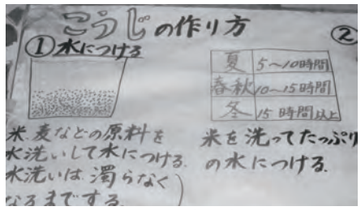
みそ の仕込み

西条加工施設（本城支所の裏）で3月2日から5月7日までみその仕込みで賑わいます。今年は18グループがみその仕込みをします。

大沢地区の窪田光子さんのグループのみそ仕込みにおじゃましました。毎年4世帯でやっていますが、ことしは山口武さん（90才）の大豆30キロ（2斗）の仕込みです。「去年は鹿にも荒らされず良い、さとう大豆（麹いらずと言われている大豆）が取れました」

麹づくりが一番おいしい味噌を作るための基本とのことで、昭和64年4月から、この加工所での作業が行われてきました。壁には、先人たちが苦労したみそ作りの為のレシピ（こうじの作り方）が貼られています。

初日…豆を洗い３時間程煮る。
麹づくり…1 時間蒸す、冷…



２日目…豆を再度２時間煮る。
機械で潰して６等分する。

初日の作業は5時間。麹作りのために蒸した米を冷まし、菌付けをして発酵器に入れて帰ります。2日目も5時間の作業で麹はかたまりをなくして、再度発酵器へ…。3日目は攪拌機で潰した大豆と麹と塩を混ぜビニール袋にいれ、家に持ち帰り仕込む。（家庭により異なる）

機械で大豆をつぶしています。
加工料は１斗・千円（麹菌を含めて）

近年「みそづくり」をする人が増えています。

青柳　若葉会

坂北地域青柳の女性グループ「若葉会」におじゃましました。二ヶ月に一度くらいの日程で集まり、交流と勉強会をしています。村から栄養士、保健師等の方に来ていただき身近な話題を相談したり学んでいます。

おじゃましたこの日は「認知症予防」のお話がされていました。食事の面からも予防ができる。脳梗塞などを予防するためにはコレステロールの管理が重要など細かく説明を聞いていました。「コレステロールを下げるために油物を極力避けているんだけど…」との問いに「必要以上の制限は低栄養にもなります。それぞれの体の状態によって必要な量を摂って行きましょう。」との話がありました。

和気藹々と楽しく会が進められていました。

館報編集後記

一年もあっという間に過ぎて又、年度末になりました。

この一年も、村民皆様のご協力のお陰で無事館報を発行することが出来ました。

情報部員もより良い館報にしたく思っています。諸事情により上手くいかない事もありますが、これからも努力していきたく思います。

この頃、地域の人と話していると心配な事を耳にします。それは、筑北村に住むことへの不安です。若いご家庭の方はもちろん、最近は年配の方までもが口にされます。不安な思いは様々なことがあるかと思います。

しかし、ここ筑北村の住人として存在しているということは運命共同体であるかと思います。

若者定住はもちろんのこと、今住んでいる村民一人でも、村外に流出することの無いような村政を考えて頂きたいです。

新しい年度が、村民一人ひとりが希望を感じられる事を心から願う日々です。

若葉

えがおのポケット

二月に入ってからの週末ごとの大雪は、子ども達の生活にも、いつもと違う状況をつくっていました。「ただいま。今日はね、先生に送ってもらったよ。」と、放課後児童クラブの児童が、集団下校になった様子を嬉しそうに話しながら帰ってきました。

除雪で大きくなった雪山の上に登ったり、少し硬くなった新雪の上で寝転がったり、雪での製作活動に励んだり、自然から子ども達へ「雪」という遊具をプレゼントされたようにも思える子ども達の様子に、雪かき疲れで重くなった心身が軽くなるようでした。

○子ども料理教室

（1月6日）

筑北村食生活改善推進協議会（山越哲子会長）の方々と窪寺管理栄養士に教えてもらいながら、昼食を作りました。山越会長から、家庭での食事の時も食品のバランスを考えて食べることのきっかけとなるお話を聞きました。

夏休みの時の料理教室とは違い、落ち着いた行動と、食改の方々との楽しいやりとりができたことに、児童の成長を感じました。

○おひさまの森 みんなであそぼう

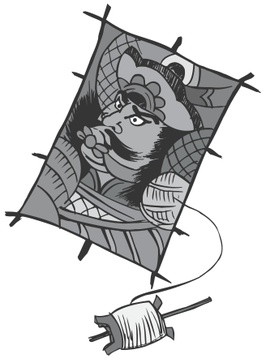
（1月31日）

「柔らかく気持ちの良い感触を味わってみよう。」と、口に入れても安心な小麦粉粘土を用意しました。お母さんも「気持ちいい～。」と、その感触を楽しんでくれました。家庭でもチャレンジしてみてくださいね。

○わくわく体験講座

（2月1日）

今年度最終回（第3回）の講座を本城地域で行いました。今回は、生涯学習課学習支援ボランティア（山田寿代表）の方々に凧作りと簡単なおやつを教えてもらいました。一人一人丁寧に教えてもらいオリジナルの凧が出来上がったところで、さっそく凧揚げをしました。予定していたグラウンドの状態が悪く、思い切り揚げられなかったものの、凧がとてもよく揚がったので大満足の様子でした。身体を動かした後のおやつは、とてもおいしかったようです。



○豆まき会

（2月3日）

午前は、おひさまの森（未就園児対象）に鬼がやってきました。お母さんと一緒に鬼のお面を作り、新聞紙を丸めて豆に見立て、豆まきの練習をしたにもかかわらず、鬼が来るとお母さんにしがみついて動けなくなっていました。

午後は、放課後児童クラブで、それぞれのやり方で豆まきをしました。そして午前の部も午後の部も最後は、お腹の中の鬼に豆をまきました。元気で過ごせますように！

○『保育園であそぼう』と『保育園開放』

今年度も、筑北村の三保育園がおひさまの森（未就園児）に開放してくれました。（保護者と一緒に行くことで、）安心して保育園の環境に慣れていってほしい。「保育園って、楽しい遊びがいっぱいできるところ。」と、感じてほしい。と願っています。『保育園であそぼう』は、クラス担任の各保育士が活動内容を設定し、それぞれが担任している園児と交流させてくれます。住んでいる地域にある保育園へ、遊びにいくことができます。

（保育園で採れたポップコーンをいただきました。）

（遊んだあとは、みんなでお掃除するよ。）

『保育園開放』は、園庭や遊戯室で自由に遊ばせてくれます。

住んでいる地域の保育園以外の保育園へも遊びに行くことができます。すでに上のお子さんを保育園へ通わせている保護者の中には、保育園の参観日とは違った我が子の様子が見られる楽しみがあるようです。来年度は、統合した保育園へ遊びにいきたいです。